

国内グループ会社の活動

燃料転換の推進によりCO₂排出量を削減

(株)ティップネス

フィットネスクラブを展開する(株)ティップネスの店舗では、プールなどへの温水供給用ボイラーを使用していますが、燃料に重油を使用していた5店舗について、天然ガスへの転換を図っています。すでに3店舗の転換を完了し、これによりCO₂排出量を約290トン削減しています。



ティップネスのプール

店舗での省エネ活動を推進

ファーストキッチン(株)

省エネルギーを推進するため、ファーストフードレストラン「ファーストキッチン」の全店舗で節水や節電を進めています。2010年6月に、「進化型ファーストキッチン」に改装した平塚店では、厨房設備や冷暖房機器の省エネ化設備への更新をはじめ、環境にやさしい店舗づくりに取り組みました。この結果、従来店に比べ電気使用量およびCO₂排出量を約2割削減し、省エネ率25%を達成しました。

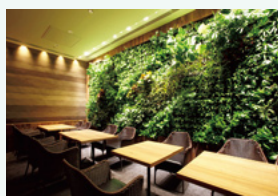


LED照明を採用

環境配慮型店舗の提案

(株)ミュープランニングアンドオペレーターズ

外食に関する企画・設計・経営の総合コンサルティングを行う(株)ミュープランニングアンドオペレーターズでは、直営店舗およびクライアントへ提案する店舗設計デザインに関して、初期段階から省エネ型照明や空調、壁面緑化、古材再利用、環境配慮型建材・仕上げ材の選定など、環境に配慮した店舗の提案を行っています。環境負荷低減とデザイン性や機能が共存する店舗づくりが、私たちの重要な業務課題であると考えています。



「THE GARDEN」(アワーズイン 阪急)の店内壁面緑化

廃棄物の減量化・再資源化

(株)プロントコーポレーション

カフェやバーなどを展開するプロントグループ全店で、ごみの完全分別に取り組んでいます。指定廃棄物処理業者と直接契約できるテナント店舗では、指定業者が生ごみを回収し100%肥料化しています。また、不燃ごみについても指定業者が固形燃料やフレック状にし、繊維原料や各種製品にリサイクルしています。



生ごみからつくられた肥料の原料

こだわり野菜で環境負荷を低減

日本サブウェイ(株)

サンドイッチチェーン「サブウェイ」では、化学合成農薬・化学合成肥料を極力使用せず、土壌中の微生物を最大限活性化させた健康な土づくりに、契約農家と一緒に取り組んでいます。2012年には、全店で使用するトマトとレタスの約半分をこの方法で栽培する予定です。また、栽培品種の拡大も計画しており、たまねぎやピーマンの契約栽培を一部開始していきます。



サブウェイ契約農場

省エネルギーと環境への取り組み推進

(株)ダイナック

(株)ダイナックが運営する飲食店の店舗では、省エネルギーの取り組みとして、電気・水・ガスの使用量削減に目標を定めて取り組んでいます。また、社用車の一部を環境負荷の少ないハイブリッド車に切り替えています。

さらに、東京湾に浮かぶ、ごみと建設発生土で埋め立てられた中央防波堤内側埋立地に苗木を植え、美しい森に生まれ変わらせる「海の森」プロジェクト(東京都主催)に、社員が団体苗木づくりのボランティアとして参加しています。



ボランティアとして参加した社員